2026年度 第7回（12月）北辰テスト対策 予想問題　解答・解説

英語

1　放送文

No.1

Mio: Ken, are you free this Sunday? Let's play tennis.

Ken: Sorry, Mio. I'm busy. I'm going to read a book in the library in the morning.

Mio: How about the afternoon?

Ken: In the afternoon, I'll go shopping with my mother.

Question: What will Ken do on Sunday afternoon?

（訳）ミオ：ケン、今度の日曜日はひま？テニスをしようよ。／ケン：ごめん、ミオ。忙しいんだ。午前中は図書館で本を読むつもりだよ。／ミオ：午後はどう？／ケン：午後は母と買い物に行くよ。
質問：ケンは日曜日の午後に何をしますか。

No.2

Nana: Dad, how many chairs do we need for dinner tonight?

Dad: Well, there are four of us. And Grandma and Grandpa are coming.

Nana: Is Uncle Ken coming, too?

Dad: No, he is busy. But your friend Mai will come.

Nana: OK. I'll bring the chairs from my room.

Question: How many chairs do they need?

（訳）ナナ：お父さん、今夜の夕食にいすはいくつ必要？／父：そうだね、うちは4人だ。それに、おばあちゃんとおじいちゃんが来る。／ナナ：ケンおじさんも来るの？／父：いや、おじさんは忙しいよ。でも、きみの友だちのマイが来るよ。／ナナ：わかった。わたしの部屋からいすを持ってくるね。
質問：いすは何脚必要ですか。

No.3

Kaito: Sara, is this your umbrella? It's big and it has stripes.

Sara: No, that's my brother's. Mine is small, and it has dots.

Kaito: Oh, is this one yours? It has dots, but it's big.

Sara: No. The small one with dots. It's over there.

Question: Which umbrella is Sara's?

（訳）カイト：サラ、これはきみのかさ？大きくて、しま模様だよ。／サラ：ううん、それは兄のよ。わたしのは小さくて、水玉模様なの。／カイト：あ、これはきみの？水玉だけど、大きいよ。／サラ：ちがうわ。水玉の小さいのよ。あそこにあるわ。
質問：サラのかさはどれですか。

No.4

Kenta is walking in the park. A woman in front of him drops her handkerchief, but she does not notice it. Kenta wants to tell her.

Question: What will Kenta say to the woman?

（訳）ケンタは公園を歩いています。前を歩く女性がハンカチを落としましたが、気づいていません。ケンタは彼女に伝えたいと思っています。
質問：ケンタは女性に何と言うでしょうか。

No.5

Ayaka is at a clothing shop. She tries on a jacket, and it fits her well. She already knows the price, and she decides to buy it. She says to the clerk,

Question: What will Ayaka say?

（訳）アヤカは洋服店にいます。ジャケットを試着すると、ぴったりでした。値段はすでに知っていて、買うことに決めます。彼女は店員に言います。
質問：アヤカは何と言うでしょうか。

No.6

Good morning, everyone. This is Mr. Kato, your music teacher. I have some news about our winter concert. The concert will be on December nineteenth. It will start at one thirty in the afternoon in the school gym. Each class will sing two songs. Your families are welcome. Please tell them to use the east gate, because the south gate will be closed. Also, please don't bring any food into the gym. Thank you.

Question 1: What is the date of the winter concert?

Question 2: Which gate should the families use?

Question 3: What should students not bring into the gym?

（訳）みなさん、おはようございます。音楽のカトウです。冬のコンサートについてお知らせがあります。コンサートは12月19日です。午後1時30分に、学校の体育館で始まります。各クラスが2曲ずつ歌います。ご家族も歓迎です。南門は閉まっているので、東門を使うよう伝えてください。また、体育館には食べ物を持ちこまないでください。ありがとうございました。
質問1：冬のコンサートは何日ですか。
質問2：家族はどの門を使うべきですか。
質問3：生徒は体育館に何を持ちこんではいけませんか。

No.7

Rina: Ben, are you free this Sunday? I'm going to the flea market in the park.

Ben: Sounds fun! I want to buy a used camera.

Rina: Good idea. Used cameras are usually three thousand yen there. Lunch boxes are one thousand yen, so bring four thousand yen.

Ben: OK. What time does it start?

Rina: It starts at nine, but good things go fast. Let's meet at the park gate at eight forty.

Ben: Eight forty? That's early, but OK.

Question 1: What time will Rina and Ben meet?

Question 2: How much money does Rina say Ben should bring?

Question 3: What does Ben want to buy?

（訳）リナ：ベン、今度の日曜日はひま？公園のフリーマーケットに行くの。／ベン：楽しそう！中古のカメラを買いたいな。／リナ：いい考えね。あそこでは、中古のカメラはたいてい3000円よ。お弁当が1000円だから、4000円持ってきて。／ベン：わかった。何時に始まるの？／リナ：9時に始まるけど、いい物は早くなくなるの。8時40分に公園の門で会いましょう。／ベン：8時40分？早いけど、わかったよ。
質問1：リナとベンは何時に会いますか。
質問2：リナはベンにいくら持ってくるべきだと言っていますか。
質問3：ベンは何を買いたいですか。

1　No.1（2点）

エ

答え: エ

・質問は「日曜日の**午後**」。Ken は "I'm going to read a book in the library **in the morning.**"（午前は図書館で読書）と言い、"**In the afternoon,** I'll go **shopping** with my mother." と答えている。

・book（ア）は午前の予定。tennis（イ）は Mio がさそっただけで、Ken は断っている。movie（ウ）は出てこない。

・予定は「いつの予定か」（午前・午後）とあわせて聞き取る。

1　No.2（2点）

ア

答え: ア

・うちの人数は "there are **four** of us"（4人）。そこに **Grandma and Grandpa**（2人）と友だちの **Mai**（1人）が加わる。Uncle Ken は "No, he is busy." で来ない。

・4 ＋ 2 ＋ 1 ＝ **7**。いすは7脚（ア）。

・「来る人」と「来ない人」を分けて聞き、足し算をする。

1　No.3（2点）

ウ

答え: ウ

・Sara のかさは "Mine is **small**, and it has **dots.**"（小さくて水玉）。最後にも "The **small one with dots.**" と言い直している。

・ア（大きい・しま）は Sara の兄のもの。イ（大きい・水玉）は "it's big" と言われて「ちがう」と断られた。エ（無地）は出てこない。

・物の特定は、大きさと模様など**2つの特ちょうを両方**聞き取って絞りこむ。

1　No.4（2点）

イ

答え: イ

・知らない女性がハンカチを落とし、気づいていない。ケンタが**声をかけて**伝える場面。見知らぬ人に呼びかけるときの決まり文句は **Excuse me.**。そのあとに You dropped something.（何か落としましたよ）と続ける。

・ア（ありがとう、わたしのです）は落とした本人の言葉。ウ（ごめん、遅れた）は遅刻したとき。エ（ようこそ、お入りください）は客を迎えるときの言葉。

1　No.5（2点）

ウ

答え: ウ

・ジャケットを試着して**ぴったり**で、**値段もすでに知っていて、買うことに決めた**。店員に買う意思を伝える言い方は **I'll take it.**（それをいただきます）。

・ア（いくらですか）は値段を知らないとき。イ（もっと小さいのはありますか）は大きさが合わないとき。エ（高すぎます）は買わないときの言葉。

・買い物の場面では、「サイズ・値段・買う」のどれを言うのかを場面から決める。

1　No.6 (1)（3点）

イ

答え: イ

・"The concert will be on December **nineteenth.**" より。nineteenth ＝ 19日。

・ninth（9日）は語の終わりが -th だけ、nineteenth（19日）は **-teenth** と長く言う。twenty-ninth（29日）とも区別する。日付は、桁もふくめて最後まで聞き取る。

1　No.6 (2)（3点）

ア

答え: ア

・"Please tell them to use the **east gate**, because the **south gate will be closed.**" より。使うのは east gate（東門）。

・south gate（イ）は**閉まる**方の門。because の前後で「使う門」と「使えない門」が逆になっていることに注意する。

1　No.6 (3)（3点）

ア

答え: ア

・"Also, please **don't bring any food** into the gym." より。食べ物は持ちこめない。

・books・bags・cameras には何も言っていない。「持ちこんではいけない」という質問なので、don't bring のあとの語を聞き取る。

1　No.7 (1)（3点）

ウ

答え: ウ

・"Let's meet at the park gate at **eight forty.**" より。eight forty ＝ 8時40分。

・nine o'clock（エ）はフリーマーケットが**始まる**時刻で、会う時刻ではない。fourteen（14）と forty（40）は音が似ている。-teen は終わりを長く、-ty は前を強く言う。

1　No.7 (2)（3点）

イ

答え: イ

・中古カメラは three thousand yen、お弁当は one thousand yen。Rina は "Lunch boxes are one thousand yen, so bring **four thousand yen.**" と言っている。3000 ＋ 1000 ＝ 4000。

・three thousand（ア）はカメラだけの値段。four hundred（エ）は 400 で桁がちがう。thousand と hundred を聞き分ける。

1　No.7 (3)（3点）

camera

答え: camera

・Ben の "I want to buy a used **camera.**" より。

・lunch box は Rina が値段の例として出した物で、Ben が買いたい物ではない。

2　問1（2点）

ア（over）

答え: ア (over)

・日本語のメモ「**世界中**から生徒が来ます」に対応。「世界中（の）」は **all over the world**。

・"students from all (over) the world" ＝「世界中から来た生徒」。

・all over ～ は「～じゅう（のいたるところ）」。all over Japan（日本中）、all over the city（市内じゅう）のようにも使う。on・in・at では、この意味のまとまりにならない。

2　問2（2点）

ア（proud of）

答え: ア (proud of)

・日本語のメモ「国際交流の取り組みを**ほこりに思っています**」に対応。「～をほこりに思う」は **be proud of ～**。

・"We are (proud of) our school's international programs." ＝「わたしたちは学校の国際交流の取り組みをほこりに思っています」。

・be afraid of ～（～をこわがる）、be tired of ～（～にあきている）、be full of ～（～でいっぱいだ）は意味がちがう。

2　問3（2点）

big

答え: big

・日本語のメモ「**大きな**食堂」に対応。「大きい」は **big**（頭文字 b）。

・"Our school has a (big) cafeteria" ＝「わたしたちの学校には大きな食堂があります」。

・big の反対は small。large も「大きい」だが、頭文字が b なので big を書く。

2　問4（2点）

ア（I'm sure）

答え: ア (I'm sure)

・日本語のメモ「**きっと**わたしたちの学校を気に入ると思います」に対応。「きっと～だと思う」は **I'm sure (that) ～**。

・"(I'm sure) you will like our school." ＝「きっとあなたはわたしたちの学校を気に入るでしょう」。

・I'm sorry（ごめんなさい）、I'm afraid（残念ながら～）、I'm tired（疲れた）では、「きっと」の意味にならない。

2　問5（3点）

2番目=オ（have）・4番目=ア（good）

答え: 2番目 = オ (have), 4番目 = ア (good)

・日本語のメモ「ここで**楽しい時間を過ごして**ほしいです」に対応。「楽しい時間を過ごす」は **have a good time**。

・正しい語順: **you have a good time** → "I hope you have a good time here."

・1: you (ウ) / 2: have (オ) / 3: a (イ) / 4: good (ア) / 5: time (エ)

・**I hope (that) ＋ 文** で「～だといいと思う」。hope のあとは〈主語＋動詞〉が続く。

2　問6（2点）

looking for

答え: looking for

・日本語のメモ「学校で使う物を**探している**なら」に対応。「〜を探す」は **look for 〜**。

・are のあとなので進行形（be ＋ 〜ing）にして、"If you are (looking for) something for school" ＝「学校で使う物を探しているなら」。

・look at 〜（〜を見る）、look after 〜（〜の世話をする）と区別する。

2　問7（4点）

（解答例）You should go to the winter festival in our town. Let's go there together!

解答例: You should go to the winter festival in our town. Let's go there together!

訳: わたしたちの町の冬祭りに行くといいですよ。いっしょに行きましょう！

採点ポイント:

・語群（winter / festival / together）から1語以上使用

・1文目＝**すすめる文**（**You should 〜. / I recommend 〜. / Why don't you 〜?** など）

・2文目＝**誘う文**（**Let's 〜. / Shall we 〜? / Would you like to 〜?** など）

・全体で2文

・文法・スペルの正確さ

3　問1（3点）

B

答え: B

・補う文: **After one month, we could talk about almost anything.**（1か月後には、ほとんど何でも話せるようになりました）

・B の前では、最初は言葉が通じなくて**おたがいに工夫していた**（絵や辞書を使い、毎晩話した）。そのあとに「1か月後には何でも話せた」とつながる。

・A の前は、エミリーが帰国した話だけで、まだ言葉の苦労が出てこない。C の前は最後の日の話で、時の流れが合わない。

3　問2（4点）

2番目=ア（our）・4番目=イ（to）

答え: 2番目 = ア (our), 4番目 = イ (to)

・正しい語順: **did our best to understand** → "But we did our best to understand each other."

・1: did (ウ) / 2: our (ア) / 3: best (エ) / 4: to (イ) / 5: understand (オ)

・**do one's best** は「全力をつくす」。one's は主語に合わせて our・my・his などに変わる（ここは we なので our）。過去の話なので do は **did**。

・**to ＋ 動詞の原形** を続けて「〜しようと」と目的を表す。

・**訳**: でもわたしたちは、おたがいを理解しようと全力をつくしました。

3　問3（4点）

2番目=オ（book）・4番目=ウ（gave）

答え: 2番目 = オ (book), 4番目 = ウ (gave)

・正しい語順: **the book she gave me** → "This is the book she gave me."

・1: the (ア) / 2: book (オ) / 3: she (イ) / 4: gave (ウ) / 5: me (エ)

・「彼女がわたしにくれた本」は、名詞 book のあとに〈**主語 ＋ 動詞**〉（she gave me）を続けて説明する。目的格の関係代名詞（which / that）は**省略できる**ので、book のすぐあとに she がくる。

・省略しないと the book **which** she gave me。

・**訳**: これは、彼女がわたしにくれた本です。

3　問4（3点）

ウ（miss）

答え: ウ (miss)

・エミリーは帰国してもういない。直後の "Yesterday, I sent her a message"（きのう彼女にメッセージを送った）や、次の "Let's meet again!" から、会いたい気持ちだとわかる。

・"Now I (miss) her very much." ＝「今、わたしは彼女がいなくてとてもさびしいです」。**miss** には「〜がいなくてさびしく思う」の意味がある（「〜をのがす」「〜をしそこなう」の意味もある）。

・meet（会う）、lose（失う）、forget（忘れる）では、文の意味が通らない。

3　問5（4点）

イ

答え: イ

・"We often cooked it together on weekends."（miso soup を週末によくいっしょに作った）より、イが正しい。

・ア：滞在は one month ではなく **three months**。

・ウ：最後の日にもらったのは dictionary ではなく **book**。dictionary は言葉が通じないときに使った物。

・エ：カナダへは「行きたい」と言っているだけで、まだ行っていない（I want to visit Canada next summer）。

4　問1（3点）

（Shoのように）夜おそくまで動画を見て、よく眠れなかったこと。

答え: （Shoのように）夜おそくまで動画を見て、よく眠れなかったこと。

・That は直前の Sho の発言 "Last night, I watched videos until midnight, and I couldn't sleep well." の内容を指す。

・「Rin にも同じことが起こる」という意味なので、「夜おそくまで動画を見て、よく眠れなかったこと」の趣旨が書けていれば正解。

・採点：「真夜中まで動画を見たこと」だけでなく、「よく眠れなかった」ことまで書けているものを正解とする。

4　問2（3点）

ア（more useful）

答え: ア (more useful)

・空欄のあとに **than** phone calls（電話より）があるので、**比較級**の文。

・useful のように**長い語（3音節以上）**の比較級は、前に **more** をつける: more useful than ～（～より役に立つ）。

・"Messages are (more useful) than phone calls for me" ＝「わたしには、メッセージのほうが電話より便利です」。

・the most useful は最上級で、than とは使わない。usefuler という形はない。so useful は than と組み合わせない。

4　問3（3点）

イ（necessary）

答え: イ (necessary)

・空欄のあとに "when I come home late, **because we can call each other**"（おたがいに電話できるから）とある。帰りが遅いときに連絡が取れるので、スマートフォンは**必要**。

・"a smartphone is (necessary)" ＝「スマートフォンは必要です」。**necessary** は「必要な」。

・dangerous（危険な）、expensive（高い）、difficult（難しい）では、because 以下の理由とつながらない。

4　問4（3点）

ウ（used）

答え: ウ (used)

・主語は phones（電話は）。「使われない」という意味なので、**受動態（be動詞 ＋ 過去分詞）**にする。

・"phones are not (used) in class" ＝「授業中は、電話は使われません」。use の過去分詞は **used**。

・using（～を使っている）にすると、phones が何かを使う意味になってしまう。

4　問5（4点）

ア

答え: ア

・Sho の "no-phone time" という言い方に、Ms. Clark が意味を聞き返している。次の Sho の発言が "**I mean** we put our phones in a box for one hour after dinner."（つまり、夕食後1時間は電話を箱に入れる、ということです）と**説明**になっている。

・相手の言った意味をたずねるときは **What do you mean?**（どういう意味ですか）。

・イ（何がほしい？）、ウ（どこへ行く？）、エ（だれが作った？）では、次の説明につながらない。

4　問6（3点）

ア

答え: ア

・Rin のあとの Ms. Clark の返事が "**Sure.** In my house, we don't use phones at dinner."（いいですよ。うちでは夕食時に電話を使いません）。Sure. は頼まれごとを引き受ける返事で、ア のように**お願いする**文に合う。

・ていねいに依頼する言い方は **Could you 〜?**（〜していただけませんか）。Can you 〜? / Will you 〜? も同じ。

・イ の Shall I 〜? は「〜しましょうか」と申し出る言い方で、Rin が言う内容ではない。ウ・エ は返事とつながらない。

4　問7（3点）

activity

答え: activity

・"a club for using SNS safely"（SNS を安全に使うためのクラブ）を説明したあと、"It was a fun after-school (activity)." ＝「それは楽しい放課後の活動でした」と言っている。

・「活動」は **activity**（頭文字 a）。club activity（部活動）の形でもよく使う。複数形は activities。

4　問8（3点）

ウ（have）

答え: ウ (have)

・Rin の返事は "I **have used** it for two years."（2年間使っています）。**現在完了（継続）**で期間をたずねる文は **How long have you 〜?**。

・"How long (have) you used SNS, Rin?" ＝「リン、SNS を使ってどのくらいになりますか」。

・have のあとに過去分詞 used が続く。did / do / are のあとに used を置いても、この意味の文にならない。

5　問1（3点）

ア

答え: ア

・"I started shodo when I was seven." より、7歳で始めた（ア）。

・イ：教えてくれたのは mother ではなく **grandmother**。

・ウ：学校祭で書いたのは small ではなく **big** word。

・エ：練習は Sunday ではなく **every Saturday**。

5　問2（3点）

イ

答え: イ

・第2段落の "But she said, '**Write slowly, and think about each line.**'" より。she は Yuto's grandmother。

・ア（急いで書く）は逆。ウ・エ は本文に書かれていない。

5　問3（6点）

（解答例）① I like origami. ② I can make many things with one piece of paper. My little brother was happy when I made a crane for him.

解答例: ① I like origami. ② I can make many things with one piece of paper. My little brother was happy when I made a crane for him.

訳: ①わたしは折り紙が好きです。②1枚の紙でいろいろな物を作れます。わたしが弟につるを折ってあげたとき、弟は喜びました。

採点ポイント:

・①は **I like** で始まる1文で、好きな日本の文化（折り紙・茶道・祭り・アニメ・和食など）が書けている

・②は2文以上で、その文化が好きな理由（楽しい点・思い出・できるようになったことなど）が具体的に書けている

・全体で3文以上

・文法・スペルの正確さ